

AstraZeneca PLC

2002年第1四半期業績

“ 第1四半期は好業績、EPSは22%アップ。年間利益目標を上方修正。 ”

ファイナンシャルハイライト(例外的損益項目控除前)

グループ (継続事業*)	第1四半期 2002 \$m	第1四半期 2001* \$m	恒常為替 %
売上高	4,421	3,991	+13
営業利益	1,297	1,055	+22
税引前利益	1,318	1,110	+19
1株当たり利益 グループ	\$0.55	\$0.45	+22
グループ (法定会計 Statutory FRS3)	\$0.55	\$0.44	

* 新報告基準FRS19に従って再計算。伸び率は恒常為替率(CER)。

- Nexium™ の売上は、第1四半期に3億5,600万ドルに到達。米国のPPI市場で、新規処方シェアを18.8%まで拡大。
- Symbicort™ の第1四半期の売上は、5,400万ドル。欧州連合で、慢性閉塞性肺疾患 (Chronic Obstructive Pulmonary Disease : COPD)の承認申請資料提出。
- Arimidex™ の早期乳癌患者における術後補助療法については、非常に順調な進捗状況で、プロモーションについては、日本で開始済み。FDAは6カ月の優先審査を許可し、ヨーロッパでは4月8日に申請。
- Casodex™ の早期前立腺がん治療の効能追加申請を行い、2月20日にFDAより優先審査の許可を取得。
- Seroquel™ の第1四半期の売上は、3億3,600万ドル。卸の在庫の増加をとともに強い需要により、79%の増加。
- FDA のCrestor™ 承認申請に対する回答は現在のところ6月末までに得られる予定。

トム・マキロップCEは、「第1四半期の業績は良好です。Nexium™, Symbicort™, Atacand™, Seroquel™ そして幅広い抗がん剤の強力な成果により、我々のポートフォリオ変換は続いています。Crestor™ とIressa™ の承認審査は主要な市場において進行中で、第3四半期には、ヨーロッパでExanta™ の販売許可申請の予定です。

London, 25 April 2002

Media Enquiries:	Steve Brown/Emily Denney (London) Staffan Ternby (Södertälje) Rachel Bloom (Wilmington)	(020) 7304 5033/5034 (8) 553 26107 (302) 886 7858
Analyst/Investor Enquiries:	Mina Blair-Robinson (London) Jonathan Hunt (London) Staffan Ternby (Södertälje) Ed Seage (Wilmington) Jörgen Winroth (New York)	(020) 7304 5084 (020) 7304 5087 (8) 553 26107 (302) 886 4065 (212) 581 8720

ビジネスハイライト伸び率は恒常為替率(CER)

第1四半期の売上高は13%増、営業利益は22%増でした。米ドル為替レートの変動により売上の伸長率は2%マイナス影響を受けましたが、営業利益に対しては1%のプラスの影響がありました。1株あたりの利益(例外的損益項目控除前)は22%増の0.55ドルでした。

第1四半期の売上高はすべての主要地域において2桁成長し、米国では14%伸長しました。発表されたか、予想された価格変更に伴う投機的買いが2001年第1四半期、2002年第1四半期の両方に対し同程度の影響を与えたので、米国での売上増は、実質的な需要をほぼ反映したものです。2001年第1四半期に影響を受けたのは主にPrilosecであったのに対し、2002年同期に影響を受けたのは循環器ならびに中枢神経領域の製品でしたが、流通在庫は両方の時期で約2億ドル増加しています。当社は、今後、第2、第3四半期中に、この在庫が正常な状態に戻ると期待しており、当社の通年の目標達成に影響はないと考えています。

GI(消化器)フランチャイズの売上高は第1四半期に1%増加しました。Nexiumの力強い成長は継続しています。米国での売上げ2億9,300万ドルを含む第1四半期の売上高は3億5,600万ドルでした。米国以外でのLossecの売上げはほとんど変化しませんでした。米国では、Nexiumが引き続きアストラゼネカのPPIフランチャイズの成長を牽引する一方、Prilosecの売上げは、処方減少に伴い、26%減となりました。米国のアストラゼネカのPPI製品(PrilosecとNexium)の総処方枚数は昨年を15%上回っています。

後発品メーカー4社に対するPrilosecの特許侵害訴訟は米国のニューヨーク地方裁判所で審理が継続しています。今日現在、米国市場にオメプラゾールの後発品は導入されていません。

GI製品を除く第1四半期の売上げ伸長率は20%でした。

2002年初頭からのその他の主な出来事として、米国とヨーロッパにおけるアリミデックスの早期乳がんにおける術後補助療法への承認申請を提出しました。

中枢神経系製品については、2月に最初の市場であるスウェーデンでゾーミグNasal Sprayを発売するとともに、米国では申請を行いました。ゾーミグRM錠は3月15日に日本で承認を取得しました。

日本でIressaの承認申請が、進行非小細胞肺癌治療の単剤使用の適応で、1月25日に提出されました。米国では、本適応での優先審査をサポートするデータのrolling submission(継続的な提出)が継続しており、当社は本年下半期にこれらの主要マーケットにおける同製品の上市を計画しています。同製品の非小細胞肺癌における化学療法剤との併用の主要な臨床試験の完了、バリデーション、ならびに解析を本年下半期に予定しています。Iressaのヨーロッパにおける最初の申請を含む当該適応の承認申請を2002年第4四半期に行う予定です。

米国におけるCrestorの薬事当局による(承認申請の)審査は進行中であり(アストラゼネカは当局による審査の進捗について通常コメントしませんが)、当社はFDAから、CrestorのNDAについて回答は4月26日*までに完了しないが、6月末までに完了することを期待しているとの連絡を受けました。Crestorのより高い用量における使用をサポートするための追加情報や解析が作成されつつあります。アストラゼネカはCrestorの製品特性に自信をもっており、ポジティブな結果を期待しています。米国での上市の正確な時期は審査が完了しなければ分かりませんが、本年第3四半期の可能性はほとんどありません。

Exantaの整形手術後の血栓予防の欧州EXPRESS試験の優秀な結果(本年の遅い時期まで詳細は公表されません)に基づき、当社はヨーロッパの販売承認申請を本年第3四半期に行う意志を確認しました。

* 4月26日はPDUFA協定によりFDAが70%の申請に対する回答を目指している10カ月の審査期間の終了日でした。

今後の見通し 伸び率は恒常為替レート(CER)

2001年度年間業績で述べたとおり、売上と利益の短期見通しは、製品の承認、上市時期、また Prilosec™ および他の成熟製品の後発品参入に左右されます。2001年度年間業績発表時は、利益の市場予測幅は1株あたり\$1.51 と\$1.66の間でしたので、1株あたりをこの中間値 になると予測しました。このような変動性のものについての最近の見通しによると、1株あたりの利益は現在のところ予測幅の最高値あたりまでいくのではないかと予測されています。

注意: : 当社の利益やビジネスの見通しへの期待に関する上記の予測的な記述はリスクや不確定要素をともっており 実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の発売時期、新製品の承認取得ならびに上市の成否 (とくに、Nexium™ と Crestor™)、既存製品の継続的成長、コストや経費の増加、グループの現金収支に対する実質的な利息収入の額、為替レートの変動、税率の更なる改善、というようなリスクや不確定要素です。これらやその他のリスクや不確定要素については、2001年アニュアルレポートForm20-Fを含む証券取委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上

伸び率は恒常為替レート (CER).

消化器

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
Losec™/Prilosec™ (日本ではオメプラール)	1,218	1,495	-18
Nexium™	356	81	n/m
Total	1,587	1,588	+1

- Nexium™ の売上は引き続き力強く伸長しています。米国での売上は第1四半期に2億9300万ドルに到達しました。米国PPI市場における新規処方Nexium™ のシェアは昨年度末から2.5ポイント増加し、3月には18.8%となりました。
- Nexium™ の米国外での売上は6300万ドルを達成し、全ての市場でマーケットシェアを拡大しました。欧州でのマーケットシェアは、9%を超えました。Nexium™ は、3月末にフランスで上市し、イタリア、ベルギー等においても今年後半に引き続き上市予定です。
- Losec™ の米国外での売上は概ね横ばいで(1%減)、フランス、イタリアおよび日本においては売上好調でした。
- 米国では、Nexium™ が引き続きアストラゼネカのPPIフランチャイズの成長を牽引する一方、Prilosec™ の売上げは、処方の減少に伴い、26%減となりました。
- 後発品メーカー4社に対するPrilosec™ の特許侵害の裁判は、ニューヨークの米地方裁判所で審議が継続しています。

循環器

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
Zestril™ (同ゼストリル)	283	294	-3
Atacand™	151	83	+84
Seloken™ (同セロケン) / Toprol-XL™	236	151	+57
Plendil™ (同スプレンジール)	108	106	+4
Total	961	835	+17

- Atacand™ Plus/Atacand™ HCTおよびAtacand™ の売上はすべての主要マーケットで力強く成長し、米国以外での売上は43%伸びました。米国の総処方数は35%増加しました。報告された売上の伸び(170%増)が処方の伸びを大きく上回っていますが、これは2001年第1四半期には特約店在庫が減少したのに対し、本年は流通在庫が増加した結果です。
- セロケン™/Toprol-XL™ の売上は米国のToprol-XL™ の好調な業績により継続的に成長しています。昨年4月上市されたうっ血性心不全の適応に助けられ、総処方数は37%増加しました。特約店在庫が米国での報告された売上増を100%に引き上げました。
- 主に米国以外での後発品との競合により、ゼストリルの売上はわずかに減少しました。

呼吸器

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
Pulmicort™ (同パルミコート)	229	200	+17
Accolate™ (同アコレート)	33	49	-31
Rhinocort™	64	56	+14
Oxis™	31	32	-3
Symbicort™	54	3	n/m
Total	446	381	+19

- ヨーロッパにおけるSymbicort™の発売は引き続き良好に進行し、特に、フランス、ドイツ、ならびにスカンジナビアの市場のコンビネーション（併用）領域に強力に浸透しました。また、計画どおり、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の申請が第1四半期にヨーロッパで行われました。
- 米国以外でのパルミコートに対する競争圧力にもかかわらず、米国でのPulmicort™ Respules™の力強い売上増（128%増）ならびにある程度のパルミコート™タービュヘイラー™の在庫上昇に牽引され、パルミコートの総売上は17%伸長しました。
- 米国では、Rhinocort™ Aquaが鼻炎市場の水溶性点鼻ステロイド剤セグメントのシェアを引き続き伸ばし、3月には過去12カ月のシェアを4ポイント伸ばし12.7%としました。総処方数は2001年第1四半期から55%増となりました。

オンコロジー

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
Casodex™ (同カソデックス)	124	115	+12
Arimidex™ (同アリミデックス)	66	43	+55
Nolvadex™ (同ノルバデックス)	143	139	+5
Zoladex™ (同ゾラデックス)	190	160	+23
Total	528	464	+17

- ヨーロッパ（55%増）ならびに日本（39%増）の高成長を反映し、カソデックス™の売上は米国以外で49%伸長しました。（米国で）1月初旬の価格引き上げ後の大幅な流通在庫減少により基本的な約7%の処方増が顕在化されることなく、米国以外での成長率は米国の37%減により一部相殺されています。カソデックス™の早期前立腺がん治療の適応追加申請に対し、FDAが2月20日優先審査を行うことを決定しました。
- アリミデックスの売上増は、米国（69%増）ならびに米国以外の市場（48%増）における強力な売上増によるバランスのとれた業績の結果達成されたものです。米国の売上増は基本的な需要を追跡したものです：成長しているアロマターゼ阻害剤市場での新処方シェアは3月に62.6%に急上昇し、過去3カ月の間に9ポイント近く上昇しました。
- アリミデックス™の早期乳がんにおける術後補助療法の適応に対するプロモーションは日本で始まりました。この重要な新しい適応に対する承認申請はヨーロッパと米国で行われましたが、米国では今月初旬にこの申請に対する優先審査が決定しています。

CNS（中枢神経系）

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
Seroquel™（同セロクエル）	336	189	+79
Zomig™（同ゾーミグ）	93	66	+43
Total	436	257	+71

- セロクエルが市場に受け入れられていることは需要の確実な伸びに引き続き反映されています。米国以外の売上は73%伸長しました。昨年の第1四半期と比較して米国での処方は48%増加しました。3月の新規処方シェアは1年前に比べ4ポイント近く上昇し16.7%でした。これは、主力の非定型向精神薬が獲得した最大のシェアです。米国の売上は80%増で、流通経路における在庫の拡大を示唆しています。
- ゾーミグ™の売上は米国以外で31%増となり、フランスで好調です。米国の売上は50%伸びており、処方増（11%増）を大きく上回りました。

疼痛、感染症、その他の医薬品

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
Merrem™	67	49	+39
Diprivan™（同ディプリバン）	113	107	+9
局所麻酔薬	96	104	-4
Total	347	364	-2

- 米国での力強い成長（67%増）がMerrem™の業績の推進力となりました。米国以外の売上は33%伸長しました。

地域別売上高

	第1四半期		CER %
	2002	2001	
米国	2,448	2,139	+14
欧州	1,395	1,291	+10
日本	172	178	+10
その他	406	383	+11

- 米国の売上は、PPIフランチャイズのより多くの売上がNexiumに移行するにつれPrilosec™の売上が減少しているにもかかわらず、14%増加しました。Nexiumが第1四半期の売上増を主に牽引しましたが、セロクエル™、Toprol-XL™、Atacand™、およびカソデックスなどの主要成長製品に対しても基本的に強い需要がありました。
- ヨーロッパの売上増はSymbicort™とNexium™によって推進されるとともに、カソデックス™、ゾラデックス™、Atacand™、およびセロクエル™が重要な貢献をしました。フランス、イタリア、そしてスペインが、主要市場のなかで最も高い成長率を示しました。
- 日本の売上は引き続き2桁成長を示し、オンコロジー領域での力強い業績ならびにLosec™（オメプラール™）の継続的な高成長が第1四半期の業績をリードしました。

営業利益

例外的損益項目控除前営業利益は、第1四半期、恒常為替レートで22%増の12億9,700万ドルでした。これは、売上の伸びを大きく上回りましたが、一部、流通在庫の増加ならびにR&Dと営業マーケティングの経費配分が有利に働いたことに起因しています。米国の流通在庫は通常レベルを約2億ドル上回りましたが、2001年第1四半期末と同程度のレベルでした。

第1四半期は、利益に対して為替による1%のプラスの影響がありました。スウェーデンクローネと英ポンドにたいしてドルが強いことが引き続き有利に働き、ユーロに対するマイナスの影響を相殺する以上のプラスの影響がありました。2002年は、通貨のスポットレートが今後年末まで一定している場合、1株当りの利益に1%-2%のマイナス影響がでると予想していますが、これは2001年決算発表で示した当社のガイダンスと一致しています。

第1四半期の営業利益率は29.3%で2001年よりほぼ3ポイント改善されました。売上原価率は、メルク社への支払い額が減額されたため、昨年をわずかに下回りました。研究開発費の対売上比率は15.8%で、2001年の16.8%より低下しました。これは、一部、良好な為替の影響、特にスウェーデンクローネからのプラスの影響や、プロジェクトコストのフェージングによるものです。販売ならびに一般管理費は5%増でした。一般管理費は減少しましたが、販売経費が増加したためです。その他の営業収益は2001年のレベルと同程度の1億5,600万ドルで、米国でのSular™の売却益を含みません。

利息

第1四半期のグループの受け取り利息および配当は純額で2,100万ドルでした。2001年からの変動の原因は米国の金利低下と自社株の買い戻しプログラムによってキャッシュバランスがわずかに減少したためです。

税金

例外的損益項目を除き、2001年の28.4%に対し、2002年第1四半期の実効税率は27%でした。2001年の税率は新報告基準FRS19に従って再計算されています。詳細は中間財務報告書のNote1をご覧ください。

キャッシュフロー

第1四半期の営業活動によるキャッシュフローは19億ドルで、メルク社への四半期毎の支払いにおけるタイミングにより良い影響を受けました。設備投資額、納税額、株の買い戻し費用を差し引いた後の第1四半期の正味キャッシュファンドの純増額は14億ドルでした。

株の買い戻しプログラム

第1四半期に、総額1億4,000万ドルで普通株式280万株（額面0.25ドル）が買い戻され消却されました。

1999年12月に本プログラムがスタートしてから買い戻し消却された自社株の総数は現在4,000万株となり、買い入れ金額は累計17億5,600万ドルになりました。発行株式数（2002年3月31日現在）は17億4,300万です。

今後のマイルストーンおよび主なイベント

4月25日	年次株主総会
7月25日	上半期業績発表
第3四半期	欧州でのExanta承認申請（整形外科手術の適応）
10月24日	第3四半期および9カ月業績発表
第4四半期	非小細胞肺癌の併用療法でのIressaの承認申請
11月7日	年次ビジネスレビュー

チーフ エグゼクティブ
トム・マキロップ